伝統と革新

NEXT VISION JAPAN

GEIBUN

国立大学法人 富山大学
芸術文化学部／大学院 芸術文化学研究科

2019 年度版

NEXT VISION JAPAN

日本が進むべき未来へ向けたビジョン。

芸術文化を社会に展開することで、
地域が抱える課題を解決し、
伝統的な文化から革新的な価値を創出する。

芸術は「魅力づくり」の原動力。

「芸術」というと、絵画や彫刻、音楽など
趣味的で、限られた人達が楽しむものだと思われがちです。
しかし、芸術が持つ「美意識」や「新しいアイデア」は、
企業活動から地域づくりまで、社会のあらゆる場面において
それぞれの質を高め、魅力を創り出す原動力になるものです。
日本は戦後、製造業の技術力と経済力を柱に成長してきましたが、
グローバル化の中で、新興国の激しい追い上げを受けている今日、
より高い付加価値のある商品やサービス、
これまでにない新しい価値の創出が求められています。
その担い手となるのが、芸術なのです。

世界に発信すべき地方の文化。

地方の駅前では空き店舗が目立ち、

伝統産業では、後継者不足による衰退が深刻な問題になっています。

産業集積などで東京に大きく後れを取っている地方ですが、

日本のものづくりや文化を支えて来たのは地方です。

今も残る豊かな自然、地縁のコミュニティ、

長年の営みの中で創り上げてきた工芸や祭事、町並みなどには、

世界に誇るべき知恵や技、そして美しさがあります。

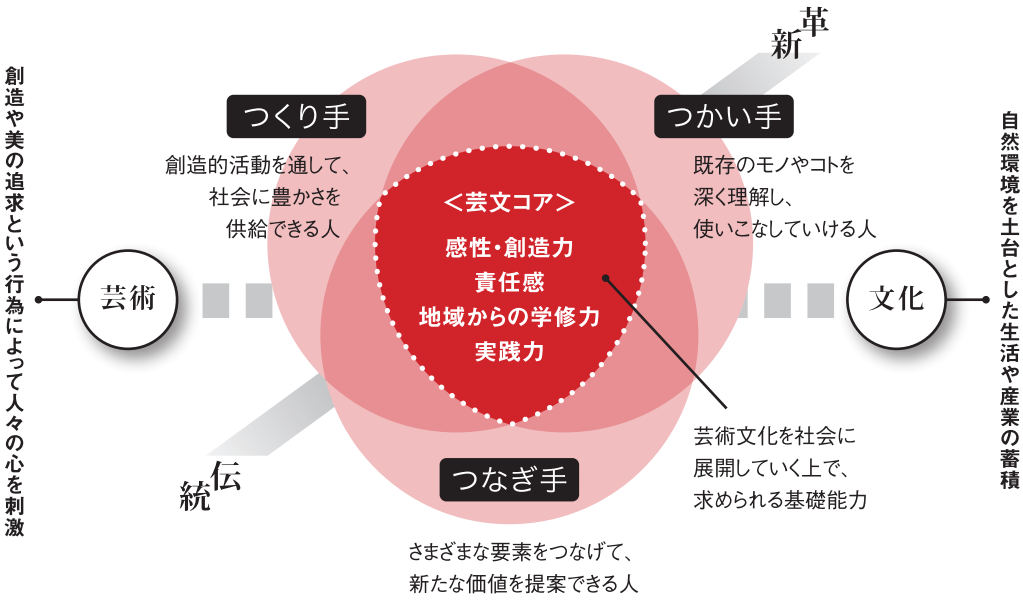
質の高い魅力が求められている今日だからこそ、

地方に埋もれている文化を再生していかなければなりません。

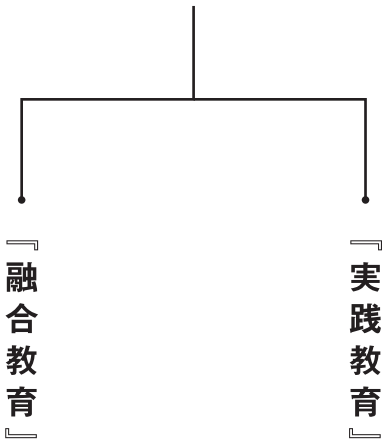
伝統的な文化から革新的な価値を創出する。

日本が世界に向けて発信すべきは文化です。

『芸術』だけでも
『文化』だけでもない
『芸術文化』という概念



『芸術文化』を担う人材育成



『芸術』は、創造や美の追求という行為によって人々の心を刺激します。
『文化』は、自然環境を土台とした生活や産業の蓄積からつくられます。
機械に象徴される物質的な『文明』が、生活に浸透していく中で精神的な『文化』として定着していく。その定着の速度を速め、あるいは深める上で『芸術』は大きな助けになります。
『芸術』はどこか近寄りがたいイメージが固定化していますが、ここに『文化』を組み合わせた時、『芸術』が社会に対して果たすべき役割や、その潜在力が明らかになります。素晴らしい作品をアトリエに眠らせておくのではなく、日常の中で触れられる機会をつくる。毎日使う道具や過ごす空間を、魅力的で愛着が持てるようにする。『芸術』と『文化』とを相乗させることで、社会が求める『質』の向上が達成できるのです。『芸術』だけでも『文化』だけでもない、『芸術文化』という概念。本学部では、その担い手を育成しています。

『つくり手』+『つかい手』+『つなぎ手』
3つの素養をバランス良く身につけた人材育成。

芸術文化を社会に役立てていくためには、創造的活動を通して社会に豊かさを提供する『つくり手』だけでなく、既存のモノやコトを深く理解し、使いこなしていける『つかい手』、さまざまな要素をつなげて新たな価値を提案できる『つなぎ手』の素養を、バランス良く備えた人材が求められます。芸術文化学部では、三者に共通する基礎能力を『芸文コア』と位置づけ、どのコースに所属していても、感性、創造力、責任感、地域からの学修力、実践力が身につけられるよう横断的な教育を提供する『融合教育』と、地域と連携した『実践教育』を推進しています。

芸術文化の原動力、
多様性を自分のものにする
『融合教育』

何かを創りだしていくためには、異なる考えを持った人と交流し、分野を横断して知識や技術を学び、それらを組み替えることが効果的です。芸術文化学部では、多様な素養の学生が集い、共に学び、お互いの考えを理解する中で、創造性が発揮できるよう次のような工夫を行っています。

●実技検査（鉛筆デッサン）と小論文を選択できる入学試験、●横断的履修が可能なカリキュラム、●学生がコースを越えた学修を気軽に相談できるメンター教員制度、●アクティブラーニング（グループ討論等を含む能動的授業）やPBL（問題解決型授業）を取り入れた「地域連携授業」と「プロジェクト授業」、●学部の全教員を対象に卒業研究・制作の指導教員を決定していく制度などです。それらを総合して実施しているのが芸術文化学部の『融合教育』です。

垣根の低い4コース制

平成30年度からは4コース制となりました。各コースでは、それぞれの専門を身につけるための履修モデルを設けていますが、学生は自分の目標に応じてすべてのコースの授業を履修することができます（一部、教室設備の制約等から履修制限を設けている授業があります）。

五福キャンパスで
他学部生と学ぶ教養教育

富山大学では平成30年度から教養教育の一元化を実施、芸術文化学部生も1年次は富山市内の五福キャンパスで他学部生と共に学びます（一部は高岡キャンパスで開講）。キャンパス間には、無料のシャトルバスを運行しています。

異なる素養の学生が
共に学ぶ環境

芸術系の大学はデッサンなどの実技ができなければ入学できないと思われていますが、芸術文化学部では、小論文でも受験できます。「デッサンは描いたことがないけどクリエイティブな仕事がしてみたい」という属性の学生が一緒に学ぶことで、多様性のある学修環境がつくられています。

コース配属について

2年次において本人の志望や学業成績等に基づいてコースを決定し、後学期にコース配属されます。各コース配属の目安は以下の通りです。

美術・工芸コース――――30名
デザインコース――――30名
建築デザインコース――30名
地域キュレーションコース―20名

『融合教育』は総合的な教育体制

さらに高度な専門へ

さらに高度な専門性の修得を目指す学生は大学院 芸術文化学研究科へ

造形表現 / 工芸 / 建築・デザイン / 芸術文化論

多様な選択肢

専門教育は高岡キャンパスで受講

卒業研究・制作

すべての学部教員の中から指導教員を決定します

美術・工芸コース / デザインコース / 建築デザインコース / 地域キュレーションコース

地域連携授業

プロジェクト授業

横断的履修

メンター教員制度

芸文基礎

芸文基礎科目

○ 2年次において本人の志望や学業成績等に基づいてコースを決定します。

1年次の教養教育は五福キャンパスで受講（一部は高岡キャンパスで開講）

芸術文化学部 / 人文学部 / 人間発達科学部 / 経済学部 / 理学部 / 工学部 / 医学部 / 薬学部 / 都市デザイン学部

他学部生との交流

入学試験では、実技検査（鉛筆デッサン）と小論文から選択

特別入試の面接、一般入試の大学入試センター試験は共通

異なる素養の学生

実技検査（鉛筆デッサン）	小論文

○ 入試についてはP.10–11をご覧ください

富山をキャンパスに
地域と連携した
『実践教育』

芸術文化学部がある富山県には3千メートル級の山々が連なる雄大な立山連峰や、ユネスコの世界文化遺産に認定された五箇山合掌造り集落、無形文化遺産に認定された3件の「山・鉾・屋台行事」があります。また高岡市には、江戸時代以来の鋳物や漆器等の伝統産業や、国宝瑞龍寺、重要伝統的建造物群保存地区に選定された2箇所の古い町並みなどの文化資源があります。これらの恵まれた環境を活かし、地域をキャンパスとした「実践教育」を行っています。芸術文化学部の前身である高岡短期大学時代に全国の大学に先駆けて取り組みを開始し、20年余り継続する中で、行政や企業、自治体などと組織的な連携体制を確立しています。実践教育は、教科書から学ぶことが難しい経験的知識や技術を身につける上で効果的であると共に、目標を達成する責任感や、自ら考えて行動していく主体性を養うことができます。

もっと!!
芸文WEB「地域連携教育」

芸術文化学部では誌面で紹介している他、数多くの実践教育を行っています。ぜひWebでご確認ください。

「地域連携授業」と「プロジェクト授業」

地域の現実的な課題をテーマとし、近隣の作家、職人、デザイナー等から指導を受ける授業や、関係者と協力して進める授業を「地域連携授業」としています。また、特定の課題を挙げて、問題発見及び解決までの過程、手法を実践的に学ぶ授業を「プロジェクト授業」として、共に実践的な学修機会として取り組んでいます。

写真右：高岡鋳物発祥の町で2008年より取り組んでいるプロジェクト授業。学生は美術館に見立てた古い街区において、工芸作品の展示やそのための什器開発、ファッションショーや茶会の企画など実践する中で、専門的な知識や技術を学修する。

学生の作品発表拠点「芸文ギャラリー」

高岡市中心市街地に設置している「芸文ギャラリー」は、授業成果や学生の自主制作の発表の場です。例えば、博物館実習の授業では、ギャラリーの企画展を実施する中で、関連の知識や技術を学びます。また、学生サークルによる「雑貨屋Tommy Dining」では、ものづくりからパッケージデザイン、値付けや商品管理、接客まですべてを学生が協力しながら進めています。

写真左上：企業と連携し木質バイオマス燃料を用いた魅力的な炎を演出する「炎育（えんいく）」授業成果展示。写真左下：クラフトデザインの授業成果発表「Gift（ギフト）」展。学生それぞれの視点で「贈り物」のかたちを提案。写真中：「雑貨屋Tommy Dining」は2007年の開廊時より17回継続する人気企画展。

公立美術館の企画展として開催している卒業・修了制作展

芸術文化学部及び大学院 芸術文化学研究科の卒業・修了制作展は、地域の関係者と実行委員会を組織して、高岡市美術館の企画展として開催しています。卒業生・修了生は、企画展としての責務を果たすべく、作品の展示方法にも力を注いでいます。在学生も広報やイベント活動を分担して創り上げています。

写真右：高岡市美術館で開催された卒業・修了制作展「GEIBUN 7」。創設時より継続して実施している。

ヒリヒリしたい一年生へ

芸文だからできる

『名物授業』

もっと!!
芸文WEB「名物授業」

芸文では様々なユニークな授業が行われています。学内で繰り広げられる
日々の授業の断片をピックアップ！芸文の授業をどうぞご覧ください！

（授業名および授業内容は2018年3月現在のものです）

【サインデザイン演習】
世界文化遺産「五箇山と岐阜県白川村の合掌造り集落」まで運行するラッピング車両を学生がデザイン。

【デザイン工芸入門B】
学生がデザイン・制作した木のおもちゃで遊べる展覧会を開催。楽しく遊ぶ姿がものづくりの糧となります。

【鋳金A（生型鋳造）】
実習が行われる現場は“鋳物場（いものば）”と呼ばれ、土間の空間が広がっている独特な場所です。作品はキャンパス内で販売します。

【高岡クラフト市場街】
学生が地域と連携し、市場街コンシェルジュの運営や印刷物のデザインなどに取り組みます。

【課題研究Ⅰ・Ⅱ（大学院・絵画）】
大学院生、修了生、教員が学外でグループ展を開催。大学院修了後にも継続的に作品が発表できるよう、サポートを行っています。

【造形芸術基礎演習A】
キャンパス内の広い空間に設置された規模の大きな静物モチーフをデッサンする課題があります。

【ものつくりのための描写演習】
15回の授業のなかの1回が「地上絵」。固定観念を捨て柔軟な思考ができることを目指します。

【絵画技法・材料】
絵画について、その描画材と基底材について基礎的な知識と経験を得る授業です。

【色彩基礎演習】
色彩学の入門として、色が見える仕組み、表し方、配色手法について、色彩検定3級レベルの内容を学びます。

【国内旅行業務論】
旅行業そのものを規定する旅行業法を学び、必置資格である国内旅行業務取扱管理者資格の取得を想定します。

【空間デザインA（シェルター）】
氷見スギとタイベック、金物のみを使用して1坪程度のシェルターづくりに取り組みます。

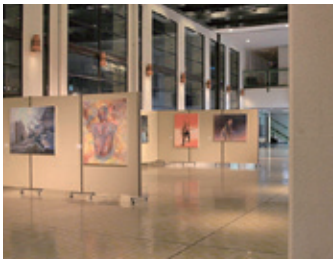
【プロダクトデザイン実習A】
より実践的なプロダクトデザインを体験するため、外部企業と連携し進める授業。

【博物館実習】
掛軸、工芸品、額装など各種美術作品の基本的な取り扱い方や、梱包の仕方、展示方法など、学芸員として基本の技術を実習し ます。

【卒業研究・制作】
卒展を前に行われる最終講評会に学部外部からゲスト講師を招聘。学外の目から観た率直な助言と批評を得ます。

【製品評価法】
株式会社山田写真製版所とのコラボにより包装紙の製品評価に取り組みます。

【リノベーション演習A】
氷見の「旧渡辺邸　倉庫」の改修を行い、氷見が舞台となる映画のロケ地として使用されました。



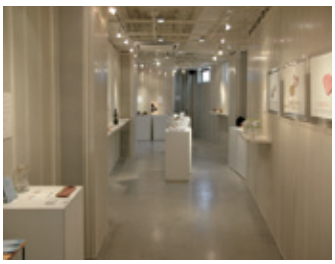
【絵画A】
制作課題は「人物」。大きさは50号(116.7×90.9cm)。吹き抜けのエントランスはいつも作品発表の場となっています。

【空間デザインB(インテリア)】
空間の重要な要素にもなる椅子について考え、デザインし、原寸大モデルの制作まで行います。

【人と木のある暮らし】
授業最終日に外部講師の方に歴史的に貴重な椅子を持参いただき、現物を前に講演いただきます。

【造形芸術演習2(造形展)】
自ら作品を制作し、自ら展覧会を開く。作品を発表するとはどういうことか、実践を通して学ぶ機会。

【立体実習(金属)1】
溶接の仕組みの理解し、溶接技術を修得するとともに、鉄(板)を材料とした小作品を制作します。



【クラフトデザイン】
「Gift」が共通テーマ。パッケージを含むプロトタイプモデルまで制作し、芸文ギャラリーにて展覧会を開催。

【まちづくり】
毎年高岡のまちづくりに対する具体的な行動を授業課題としている。写真は高岡駅で開催したフラッシュモブの様子。

【LIVING ART in OHYAMA】
富山市主催のアートイベントに授業として芸文生も加わり、協同体制で準備および運営を行います。

【芸術文化リテラシー】
新入生が芸文の各専門分野への興味・関心を深めることを目的とした学部教員によるオムニバス授業。

【鑑賞のための造形演習】
芸術文化キュレーション必修科目。飛鳥時代などの金銅仏・木彫仏を参考に「安らぐ表情」を表現します。

【家具デザイン・制作B】
木材の特性と構造や木目と審美性の関係を設計に盛り込み、家具をデザイン・実制作します。

入試は

『実技か小論文を選ぶ。』

全コース共通の
「募集区分単位」での選抜です。

芸術文化学部では、2つの「募集区分単位」での入学者選抜を行っています。

右表の通り、特別入試（推薦入試、帰国生徒入試、社会人入試）、一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）、いずれの入試でも実技検査（鉛筆デッサン）と小論文のどちらか一方を選択する募集区分を設けて行います。入学した学生は2年次において、本人の志望や学業成績等に基づいてコースを決定します。このことにより学生は入学後の学修を通じて、多様な選択肢の中から進路を決めることができます。

右表は平成30年度入学者選抜における情報です。〔 〕は配点。
入試の詳細は、7月中旬に発表される平成31年度入学者選抜要項を確認ください。

コース配属について
2年次において本人の志望や学業成績等に基づいてコースを決定し、後学期にコース配属されます。
各コース配属の目安は以下の通りです。

美術・工芸コース――――30名
デザインコース――――30名
建築デザインコース――――30名
地域キュレーションコース―20名

特別入試（推薦入試、帰国生徒入試、社会人入試）

大学入試センター試験は課しません

美術・工芸，デザイン，建築デザイン，地域キュレーション （2年次において，本人の志望や学業成績等に基づいて所属コースを決定）		
区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	実技検査〔100点〕 （鉛筆デッサン）〔3時間（180分）〕 面接〔100点〕	小論文〔100点〕 面接〔100点〕
募集人員	17名	17名
	帰国生徒　若干名　／　社会人　若干名	

一般入試（前期日程）

美術・工芸，デザイン，建築デザイン，地域キュレーション （2年次において，本人の志望や学業成績等に基づいて所属コースを決定）		
区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	大学入試センター試験〔500点〕 （3教科3科目又は3教科4科目） 実技検査〔800点〕 （鉛筆デッサン）〔3時間（180分）〕	大学入試センター試験〔800点〕 （5教科6科目又は5教科7科目） 小論文〔200点〕
募集人員	27名	27名

私費外国人留学生入試については、入学者選抜要項を確認ください。

一般入試（後期日程）

美術・工芸，デザイン，建築デザイン，地域キュレーション （2年次において，本人の志望や学業成績等に基づいて所属コースを決定）		
区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	大学入試センター試験〔200点〕 （2教科2科目又は2教科3科目） 実技検査〔600点〕 （鉛筆デッサン）〔3時間（180分）〕	大学入試センター試験〔600点〕 （3教科3科目，3教科4科目又は2教科3科目） 小論文〔300点〕
募集人員	11名	11名

芸文OB・OGから届いた、
受験生へのメッセージ。

（コース名は入学当時のものです）

アートの分野で学んだ「表現する」という精神が芸術活動以外の生活で活かされている場面はたくさんあります。【射水市大島絵本館／桑原竜哉／造形芸術コースOB】

学生時代の私の周りには、自分のやりたいことを実行する人が多くて刺激的でした。【ティー・ワイ・オークリエイティブセンター／押川恵里子／デザイン情報コースOG】

生まれ育った土地でできることがあると思うので、富山の土地を大切にし、富山の街を変えていきたい。【光陽興産／寺山英里子／造形建築科学コースOG】

仕事も作家活動も自分がどう社会と関わっていくかだと思っています。大学は自分の軸を発見し育てる時間になる。【守田漆器／森田志宝／造形芸術コース・大学院OG】

私は島根県松江市出身なんですが、いま、仕事をして暮らしていく場所は、高岡しかないと思っています。【高岡市デザイン・工芸センター／岩水成美／デザイン情報コースOG】

大学時代に完全燃焼していたのなら良いけど、やはり絵は描いても描いても分からないから続けるしかないなって。【作家／江藤玲奈／造形芸術コース・大学院OG】

研究室で「木津の庄コミュニティセンター」の基本・実施設計が出来たのも貴重な経験で、就活時の大きな自信になりました。【アール・アイ・エー／蒲 由奈／造形建築科学コース・大学院OG】

ものづくり、ひとづくり、まちづくりなど、創っていく上のプロセスはどれも通ずるものがあります。【富山市役所／小川大輝／デザイン情報コースOB】

どんな場所に行ってもその地の特徴を見つけることは、建築を志す者にとって大切な力と言えます。【隈研吾建築都市設計事務所／三上恵理華／造形建築科学コースOG】

もっと!!
芸文WEB「卒業生の活躍」

何かを全力でやり遂げる力を身に着けておくことが大事。その力が「やりたい」という気持ちを具現化させる。【宝来社／加藤浩貴／文化マネジメントコースOB】

今教員として生徒の前に立っている以上、失敗は許されないという緊張感があります。【仁川学院／池田将光／デザイン工芸コース・大学院OB】

実際に自分の目で見て、出会って話して、感じて考えたことを大切にしてほしいと思います。【山田写真製版所／田中友野／デザイン情報コースOB】

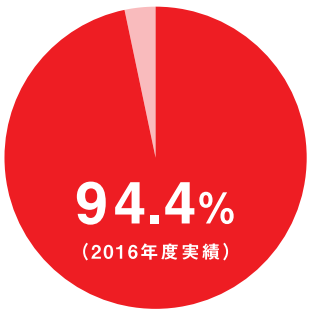
大学で学んだ4年間のおかげで、商品の造りやデザインを、自分の中に落とし込んでお客様に話せるようになりました。【ミヤモト家具／杉木 涼／デザイン工芸コースOB】

やっぱり指導者ってすごく大切だと思うんですよ。それによって発揮できる力って違うから。【ウッドリンク／奥野さつき／造形建築科学コースOG】

コースの垣根を越えて様々な授業を受講できたことが、現在の仕事にも役立っていると強く感じます。【日機装／山口早紀／文化マネジメントコースOG】

芸文には様々な選択肢が用意されています。自分の可能性を試すには最高の場所。選んで損はありません。【岡山県立倉敷鷲羽高等学校／西川紗絵子／造形芸術コース・大学院OG】

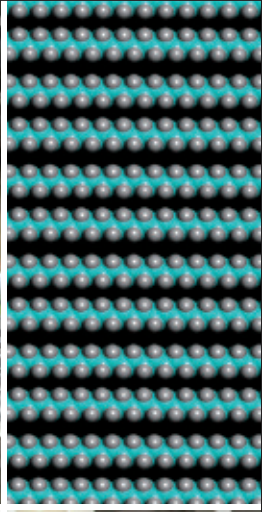
芸文の就職率※

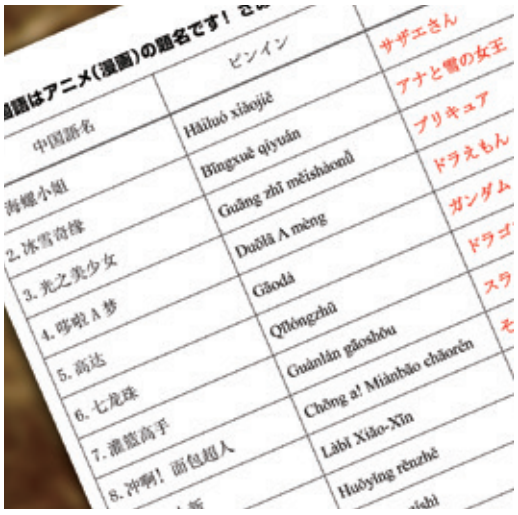


芸文の進路・就職支援体制は大変充実しています。これまで芸文が卒業生を輩出してから全て90%を超える就職率を維持しています。

※就職率は就職希望者に占める就職者の割合。

2015年度 2016年5月時点	96.7%
2014年度 2015年5月時点	96.7%
2013年度 2014年5月時点	95.7%
2012年度 2013年5月時点	95.3%
2011年度 2012年5月時点	90.7%
2010年度 2011年5月時点	92.3%
2009年度 2010年5月時点	94.3%





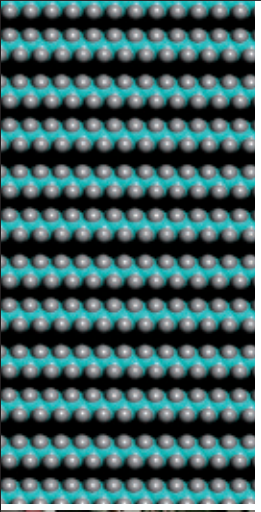
芸 文 基 礎

つくり手、つかい手、つなぎ手の礎（いしずえ）をつくる

「芸文基礎」は全ての芸文生が学ぶ専門基礎科目群です。富山大学全学生を対象とした教養教育科目と共に、いずれ美術、工芸、デザイン、建築、キュレーションといった専門領域へと学びを深めていく、最初の専門的な学修段階となります。芸文基礎科目群は、芸術の基礎（つくり手系）、文化の基礎（つかい手系）、コミュニケーションの基礎（つなぎ手系）を軸に構成され、造形表現、CG、測定や実験法、素材の理解、設計、芸術や伝統文化の歴史と科学的理解、世界の芸術文化、言語伝達、プレゼンテーション、情報処理、情報サービスなど、4コースの全てに関連する基礎的内容を学ぶことができます。

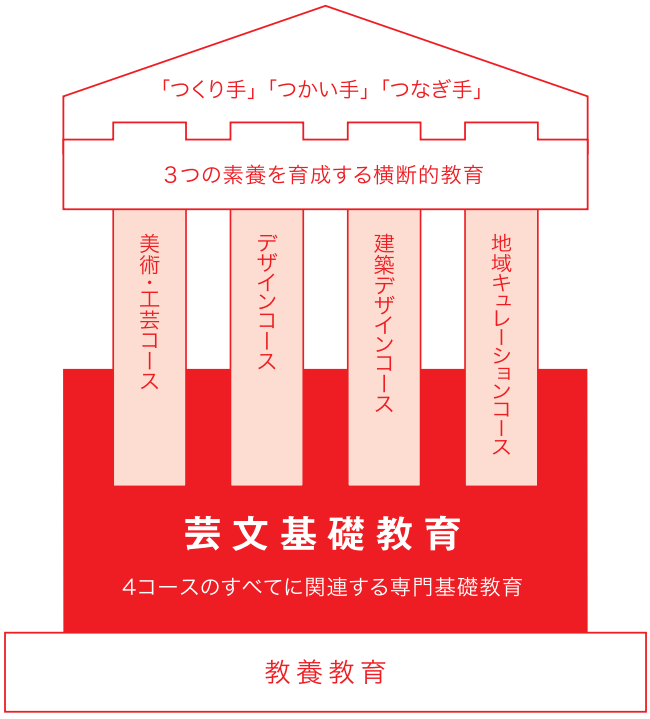
1	2	3	4	5
	6	7	8	

1. 人間を知る―災害時避難用背負梯子開発のための実験
2. 造形技能を知る―鍛金技能の基礎演習
3. 素材を知る―造形のための材料分析（ポリエチレンの分子構造）
4. 表現技能を知る―CGの基礎演習による作品
5. 文化を知る―伝統的空間での工芸品の展示実践
6. コミュニケーションを学ぶ―中国語の教材
7. コミュニケーションを学ぶ―ビジュアルによるプレゼンテーション作品
8. コミュニケーションを学ぶ―英語と日本語で考えるコンセプチュアルジュエリー作品



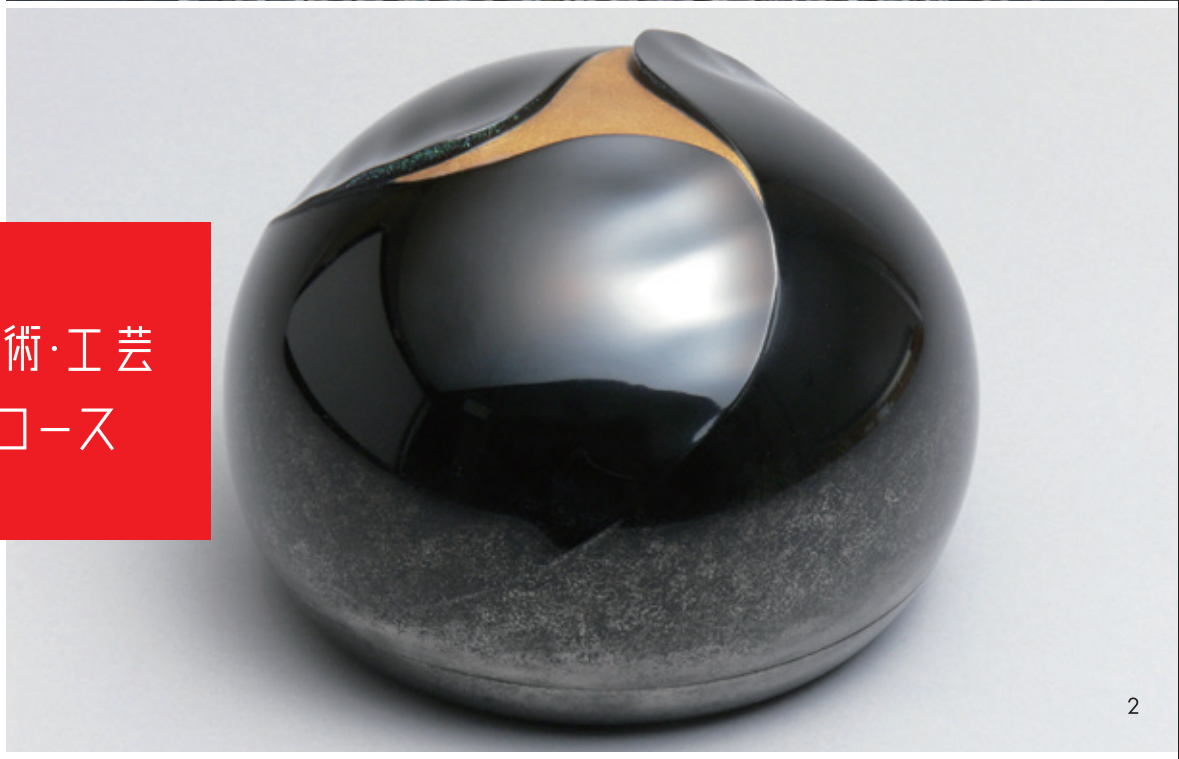
Jewelry for me is
something to show strength.

私にとってジュエリーとは
強く見せる物

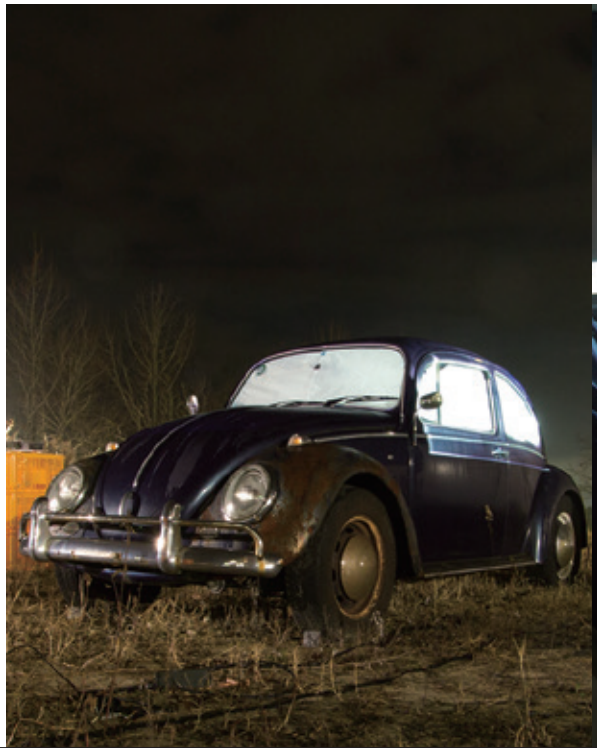

「つくり手」「つかい手」「つなぎ手」
3つの素養を育成する横断的教育
美術・工芸コース
デザインコース
建築デザインコース
地域キュレーションコース
芸文基礎教育
4コースのすべてに関連する専門基礎教育
教養教育

1

美術·工芸コース



2



3

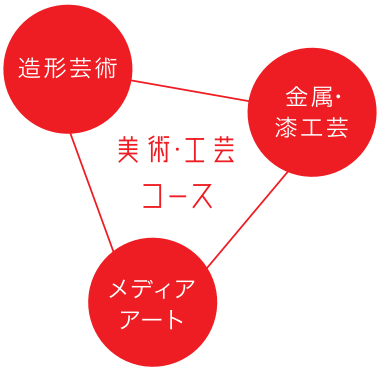
洗練された美意識と
卓越した技から創る
新しい芸術表現

美術・工芸コースでは、絵画、彫刻、メディア芸術、金属工芸、漆工芸といった美術と工芸について、制作と発表を通して学べます。専門分野を選択して深く学びながら、その他の分野についても横断的に挑戦します。例えば、古典絵画技法とメディア芸術の両方を学ぶことで生まれる感覚、現代彫刻と工芸を同じ場で鑑賞する時に現れる価値といった、従来の枠組みを超えた専門性と多様性を見つけることができます。
それらを通して、これまでの伝統的な技法や美意識、これからの芸術表現やものづくりの在り方について考え、各自の資質や感性が発揮できる独創的な表現力を身につけます。

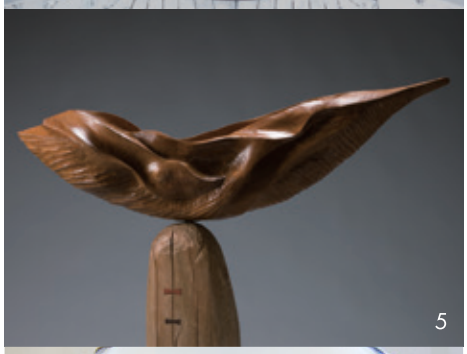
1.「安息」(部分) 能村奈央／日本画／卒業制作
2.「乾漆蒔絵飾箱」小池杏奈／漆工芸／卒業制作
3.「Neutral BUG Type:1」佐藤弘隆／実車を運転することでラジコンカーが走り、搭載されたカメラが捉えた画像を実車の窓に映す。／メディアアート／卒業制作
4.「少女」(部分) 加納萌子／油彩画／卒業制作
5.「波打つ」森崎湧斗／彫刻／卒業制作
6.「刹那・連環」岡野亜耶／ハレの日を飾る銀七宝のネックレス／金属工芸／卒業制作
7. 塑造制作風景
8.「源」〈立体実習(インスタレーション)・展示風景〉川本麻未／黒い壁の空間に白い紙によるインスタレーション。生命感のある表現を意識して、内から溢れるものをイメージして制作。／インスタレーション
9.「終わりにて」堀内 快／金属工芸(鋳金)／卒業制作

取得可能資格

中学校教諭1種免許状(美術)、高等学校教諭1種免許状(美術)、学芸員資格



4


5

6

7

8

9

ARTIFICIAL MUSCLE
SKY

1

2

デザイン コース

ソレテック
ロマンチック
ロマピタン
ダマサレン
オゴローゼ
ヒロロック
カティテキン
我慢

3

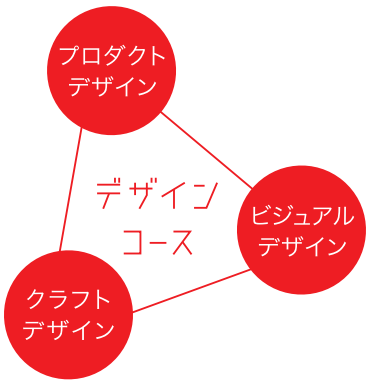
明快なコンセプトで
地域の課題を解決し、
新たな価値を提案

デザインコースでは、明快なコンセプトを創り出す力や実践的なデザインの力を養うために、地域の企業や行政機関と連携し現実社会の具体的な問題に取り組む多くのプロジェクト型授業を導入しています。物事の本質を探求し、人と「モノ」「コト」「空間」「情報」との関係を整え、時代のライフスタイルに適合したデザインを実現できる人材、地域の伝統的産業技術と先端技術とをバランスよく活用し新たな価値を提案できる人材を育てます。

1.「VISION AGRILIFE」前田隆将／農業の新しい価値を生み出すモビリティ／プロダクトデザイン／卒業制作
2. 学外における授業成果展示／成果を社会に展開することでリアリティある創造力を養う
3.「47の恋愛指南薬」長沢佳奈／県民性の見える化／コミュニケーションデザイン／卒業制作
4.「IDATEN」竹内秀太／未来都市を観光するための伝統と革新が融合した人力車／プロダクトデザイン／卒業制作
5.「食紙ーしょくがみー」青木美月／100%青果物から創られ食すことが可能な新しさと楽しさを兼ね備えた自然紙／プロダクトデザイン／卒業制作
6.「The story of movement」寺中勇太／3Dプリンターによる"不思議"な積層の物語／フリップブック／卒業制作
7.「紡ぎ車」紙 遥／暮らしのなかのものづくり／家具デザイン／卒業制作
8.「コミュニケーションを生むスタンプ」河原つかさ／「高岡クラフト市場街」における「職人・町人スタンプラリー」の提案／コミュニケーションデザイン／卒業制作
9.「重度な後遺症を抱える患者とのコミュニケーション」田中沙里／「新しい対話」をテーマにした作品／マンガ／卒業制作

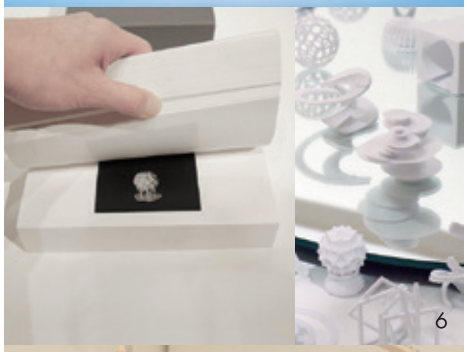
取得可能資格

中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）、学芸員資格



4

5


6

7

8

9

1

2

建築デザイン コース

3

歴史・風土から
織りなす
時と場所の創造

建築デザインコースでは、一般的な建築学科で教えられる、建築設計、インテリアデザイン、建築論・建築史、都市・景観論、建築構造、環境・設備、材料工学などの幅広い分野を網羅すると共に、地域の歴史・文化を継承しながら「伝統と革新」という枠組みの下、芸術と工学、実践と理論の統合プロセスを通して建築を学びます。自分のデザインを実寸大で制作し、自ら実測調査した町屋の再生を詳細に提案するなど、存分に時間をかけ構造・構法と意匠に立脚した空間表現の技法を習得することで、インテリアデザインから都市・環境デザインに至る広範な分野における、発想力・設計力やプレゼンテーション能力を発揮できる人材を育成します。

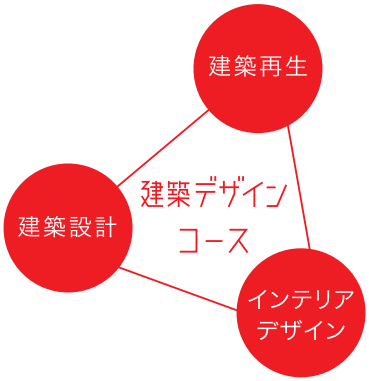
1.「卒業研究・制作」4年間の集大成。各自がテーマを設定し、指導教員のもとで卒業研究・制作としてまとめます。
2. 6.「空間デザインA（シェルター）」根源的な空間をデザインし、チームに分かれて実際につくりあげる授業。手と身体で建築を学びます。
3.「卒業・修了研究制作展GEIBUN9」展示風景
4.「森の中の銀河 the milky way in the forest〜ファイトレメディエーションを用いた工場跡地の立地適正化」（部分）山形桜水／卒業制作
5.「IDEC+Geo Lounge ー糸魚川の地域防災力を展示するための防災ハイブリッド施設ー」（部分）岩崎遥華／卒業制作
7.「空間デザインF（建築再生）」実際の伝統的な建築や町家をリノベーション設計する授業。実測から、地元住民の方々へのプレゼンテーションも行います。
8.「空間デザインB（インテリア）」名作椅子を実測し、図面・模型をつくり、それを生かして椅子をデザインし、原寸大で製作。
9.「空間デザインC（住宅）」町家の軸組模型を制作し木造を学び、各自自由なデザインで住宅の設計プロジェクトに取り組みます。

取得可能資格

1級建築士受験資格、2級建築士受験資格、木造建築士受験資格、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）、学芸員資格

関連分野の資格

情報処理技術者、施工管理技士、宅地建物取引士、インテリアプランナー、インテリアコーディネーター、マンション管理士、知的財産管理技能検定、カラーコーディネーター、福祉環境コーディネーター、マンションリフォームコーディネーター



4

5

6

7

8

9

1

地域キュレーション コース

「つなぐ」ことで、新たな価値を創造する。それが、「キュレーション」

キュレーションとは、多様な事象の中から価値を持った情報やものを見つけ出し、体系的な知識にもとづいて、整理し、編集し、提示する技術です。独創的な視点で、人、もの、地域を相互につなぎ、新たな価値を地域社会に創り出すことができます。地域活性化が重要な課題となっている現代社会において、キュレーションには社会の期待が集まっています。

地域社会は、「キュレーター」の活躍を求めている

キュレーションという言葉は、博物館や美術館の専門職であるキュレーター（学芸員）に由来しています。しかし現在では、学芸員に限らず、教育、情報、経営などあらゆる場面で用いられる考え方へと広がっています。美術や文化財の歴史や理論、展示技法、文化政策、地域の景観や伝統を活かしたデザインなどの専門分野を学ぶことを通してキュレーションの力を培い、まちを、地域を、社会を、アートや伝統文化によって魅力ある世界に変えていくことのできる人材を育てます。

豊かな地域づくりに貢献したいあなたを待っています

地域キュレーションコースでは、制作することよりも見ることや背景を知ること、あるいは、まちづくりや地域おこしに関心がある人に、ぜひ来て欲しいと考えています。卒業生は専門性を活かして、地方自治体、マスコミ、伝統産業や観光に関わる企業、ギャラリーなどで活躍しています。また、さらに学びたい人は大学院に進学することができます。

2

3

アートや
伝統文化を活かした
豊かさを感じる地域づくり

4

「デミアン・ハースト〈Natural History〉シリーズについての考察」 伊藤美晴

英国を代表する現代美術家デミアン・ハーストの〈Natural History〉シリーズは、鮫や牛などの標本をホルムアルデヒドで満たした箱の中に保存する連作である。本論では、ミニマル・アートやジェフ・クーンズらの現代美術作品との比較に加え、自然史博物館や博物学の影響をも考察対象として、同連作が、ハースト独自の自然体系の創出活動であることを明らかにした。ハーストは、「生と死」という不可避の現象を出発点としつつ、多くの矛盾をはらむ現実を新たな「世界」に再構築することを試みているのである。

「美人画における眉の表現について」 林 朝海

現代の化粧法では、眉は女性の顔全体の印象を決定づける役割を担っている。そして、このことは、近代日本の美人画での顔の描写にも当てはまることである。事実、美人画での眉の重要性について、上村松園は「美人画を描く上でも、いちばんむつかしいのはこの眉」と述べている。これは、現実の世界でも歴史的には、眉が女性の身分や年齢、未婚既婚、さらには秘められた性格という基本的情報を示す重要な徴であり続けたことに起因している。それゆえ美人画家は、近代にいたっても、眉を重要視せざるを得なかったと考えられるのである。

鏑木清方
《薄雪》(部分)
大正7(1917)年

「新湊曳山の山町東町の囃子方の歴史と継承 ―囃子方の後継者不足問題と育成―」 菅沼拓哉

県内最多の13基の曳山を所持する新湊曳山まつりは、それぞれの曳山に特徴があることと同様に曳山囃子にも町ごとに特徴を持つ。しかし、少子高齢化などの影響により、現在は後継者の不足という問題を抱えている。しかし、山町の1つである東町では、過去に囃子方がいなくなった経験を踏まえ、指導方法などを工夫し、町全体で後継者の育成に努めている。また、町の若い囃子方は小学校のお囃子クラブで曳山囃子を習い、早くから囃子方の戦力として活躍している。祭の伝統を守るため、町や学校が協力し、地域を挙げての後継者育成が必要ではないだろうか。

「町並みの構成要素に見る八尾旧町住民の景観に対する意識」 矢郷沙織

富山市八尾旧町は、祭礼や芸能とともに江戸期からの美しい町並みを継承してきた町である。八尾旧町住民の景観に対する日常的な意識を探るために、町並みの通りに面してディスプレイされている鉢植えや植栽、各種装飾物などに着目し、これらの要素を「町並みアクセサリー」と名づけ、その使われ方や建築用途、様式との関係性を分析した。修景行為と組み合わせて町並みアクセサリーによる適度な修飾が施された町並み景観からは、文化を守る意識と、訪れる人をもてなす感覚を読みとることができる。

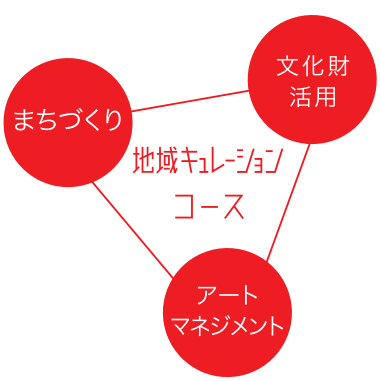
1.獅子舞行事の実地視察は伝統文化の多様性を知る機会。
2.ゼミで地域の風景資源を活用するための提案について考える。
3.美術作品の正しい扱いはキュレーションの第一歩。
4.町家の空間を使って作品を展示する。

取得可能資格

学芸員資格

推奨資格

中学校教諭1種免許状(美術)、高等学校教諭1種免許状(美術)



本大学院では、学部4年間で培った知識、感性、技術を更なる夢の実現に向けて、より深化させ研究したいと望む学生や、社会に出た後に、もう一度深く専門分野を学びたいと望む社会人のために、芸術文化における各分野の専門家である教授陣が多彩なカリキュラムで万全の研究サポートを行います。日本の芸術文化を、地域はもとより全国、世界に広め発展させることで、自らの夢を実現させましょう。

設置目的

本研究科は、総合芸術を基盤とした人間の文化活動全般を教育研究の対象とします。独自の表現法とその成果の社会的活用という観点から、多角的研究手法による実践的研究を行います。これからの社会において、学芸の深化を実現させる教育研究を通し、芸術の成果を活用して心豊かな地域文化を創生するために、先導的役割を担う人材を養成することによって社会の創造性を強化することを設置目的とします。

教育目標

本研究科の教育目標は、日本の伝統文化を起点としたものづくりや、国際的視野に立った普遍的な視点に基づく専門知識・技術の深化を通して、文化芸術の発展・継承ために実践的な活動ができる人材を育てることです。

養成する人材像

学部では、幅広い教養と芸術文化を中核とした基礎的能力を修得します。
学部で培った基礎の上に、本研究科では、学芸の深化を実現することによって、想像性豊かな高度専門職業人を養成します。
具体的には、これからの世界をリードできる、次に挙げる3つの人間像です。

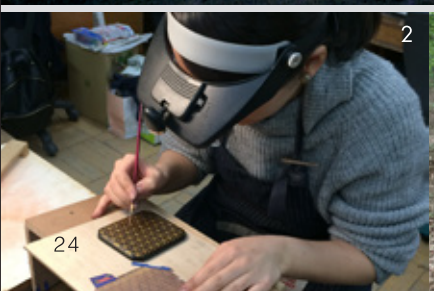
(1)　新時代の芸術文化を担うアーティスト
(2)　クリエイティブな産業のコーディネーター
(3)　新たな地域文化のリーダー

大学院

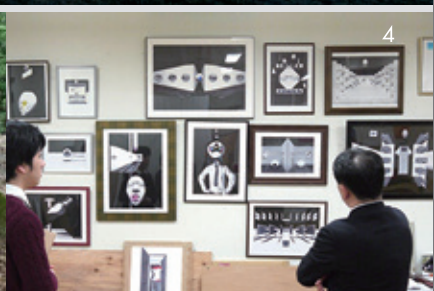
芸術文化学研究科（修士課程）

1. 大学院の学生と教員が協同で設計した
「木津の庄コミュニケーションセンター＋公園」
2. 漆芸古典作品の部分模造
3. 自然風景の演習授業
「風景をいかした森林づくりのための提案」
4. 富山県美術館学芸員による講評

1


2

3


4

大学院教育課程の概要

本研究科では、芸術文化学における多様な造形表現、芸術の普遍的価値などの基本的視野を持つための共通科目を、また、伝統文化を起点とした創造性を深化させるための「造形表現」「工芸」「建築・デザイン」「芸術文化論」の科目群を開設し、学生の目標に応じて、科目群を横断して構成した履修計画により教育を進めます。学部教育の学問体系は継承し連続性を保ちつつも、科目群を横断する教育研究体制を可能として、高度専門職業人の養成を担います。科目群は、次のような特徴を持っています。

●造形表現　科目群
平面、立体造形及びメディアアート制作などの多様な芸術的表現に関する科目で構成

●工芸　科目群
工芸のもつ、素材、用途、美的感性、造形感覚、加工技術、様式、独自性などのバランスを深く学び、自らのアイデンティティーを核として世界に通用する価値の創出に関する科目で構成

●建築・デザイン　科目群
多様なデザイン表現力、生活環境としてのデザイン・建築・まちづくりの総合的な企画調整力、伝統文化の再生や地域創生、クリエイティブな産業に関する科目で構成

●芸術文化論　科目群
世界、日本、地域、人間というように芸術を身近な場へと視点を移動させることによる普遍的価値観、伝統文化を起点とした地域の芸術文化理論に関する科目で構成

これらの科目群は、学部との接続を容易に理解するための専門科目の括りであり、履修上の指針とするものであって、コース制のように修了までの学生の所属として設けてはいません。学生は自らの課題研究テーマや目標に応じて指導教員との相談によって主体的に履修科目を選択することにより、特定の科目群を中心に深めることも、複数の科目群を横断的に履修することも可能としています。

本研究科の学生は、基幹となる共通科目を選択必修として履修することで、普遍的、歴史的、地域的な固有の視点を持ちつつ、専門科目の中から自らの修学目標に合致した授業科目を中心に履修することにより、軸足となる専門技術、専門知識を深化させます。この結果、本研究科の「養成する人材像」が育まれるカリキュラム体系としています。

芸術文化学研究科選抜方法

<table>
<tr><td colspan="4">芸術文化学専攻</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一般入試</td><td colspan="2">筆記試験</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td>小 論 文</td><td>外国語科目
英語※</td><td>志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国人留学生
特別入試</td><td colspan="2">筆記試験</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="2">小論文
（日本語で課す。）</td><td>志願理由書、研究計画書及び論文又はポートフォリオに基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。</td></tr>
</table>

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び学業成績証明書を総合して行います。
※平成31年度入試から、外部試験（TOEFL又はTOEIC）のみで評価する方式へ変更します。

芸術文化学研究科募集人員

専攻	入試区分	実施時期	募集人員
芸術文化学専攻	一般入試【前期日程】	8月頃	4人
	一般入試【後期日程】	2月頃	4人
	外国人留学生特別入試	2月頃	若干人
	合計		8人※

※募集人員8人には外国人留学生特別入試の募集人員を含みます。

●詳細については「大学院学生募集要項」を参照してください。

●入学者選抜試験に関する情報、資料請求方法については、富山大学Webサイトで提供していますので、ご利用ください。
富山大学Webサイト「入試情報」→ http://www.u-toyama.ac.jp/admission/index.html

■入試に関する問い合わせ先:
芸術文化学研究科について　芸術文化学部総務課学務チーム　TEL.0766-25-9133
（「入試に関する問い合わせ」は、原則として志願者本人が行ってください。）

ラハティ応用科学大学

フィンランド共和国

ラハティ応用科学大学は、前身であるラハティ・ポリテクニック（職能大学）時代から実学に重きを置いた教育を展開しています。デザイン学部においても、企業との産学協同プロジェクトをはじめ、実践力を身につける教育プログラムが組まれています。

国際交流・留学

芸文がつながる世界へ行こう！

プラハ美術工芸大学

チェコ共和国

プラハ美術工芸大学は、1885年に創立、チェコ共和国内の芸術系国立大学の中で最も歴史のある大学であり、建築・デザイン・芸術・応用芸術・グラフィック・美術史美学の6学部を擁しています。ガラス芸術をはじめとする東ヨーロッパの優れた芸術を学ぶことができます。

カペラゴーデン美術工芸学校
スウェーデン王国

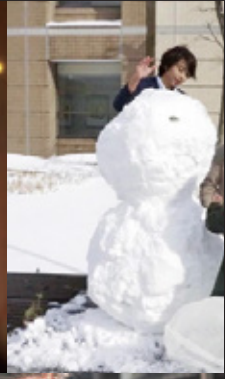
カペラゴーデン美術工芸学校は、木工、織・染色、陶芸、菜園の4コースがあり、優れた作り手と豊かな使い手の育成を目指しています。美しい工房と宿舎での生活が、豊かな暮らしを作ることの意味を問いかける学校です。

もっと!!
芸文WEB「留学生の今日」

留学中の学生が
現地からレポート中!

パタナシン芸術大学
タイ王国

タイ国立パタナシン芸術大学は美術、工芸、デザイン、建築、舞踊、音楽といった幅広い教育を行っています。2012年1月、富山大学芸術文化学部ではアジア圏初となる交流協定をパタナシン芸術大学と結び、本格的な交流をスタートさせました。タイの伝統的な絵画、漆工芸、建築はもとより、現代的な感性が融合することで、アートやデザインのダイナミックな流れを肌で感じ学ぶことができます。



CAMPUS LIFE

地域の中で育まれる
芸文生達。

もっと!!

芸文WEB
「キャンパスライフ」

教員紹介

バラエティーに富んだ教授陣。

有田 行男　准教授
デザインマネジメント、コミュニケーションデザイン、
プロダクトデザイン

伊東 多佳子　准教授
美学、芸術哲学、環境美学、環境芸術論

上原 雄史　教授
建築意匠、建築設計、アーバニズム

内田 和美　教授
プロダクトデザイン、トランスポートデザイン

大氏 正嗣　教授
構造デザイン、数理的配置計画
木材の積層架構等

大熊 敏之　教授
近世近代美術史（西洋・日本）、工芸史
デザイン史、博物館学

小川 太郎　講師
漆芸

沖　和宏　准教授
視覚伝達デザイン

奥　敬一　准教授
風景学、風景観光論、世界遺産学

小田 夕香理　講師
英文学

河原 雅典　准教授
人間工学、働態学

後藤 敏伸　教授
環境造形、立体造形、木彫

齊藤 晴之　教授
工芸美術、漆造形、立体表現

三宮 千佳　講師
東洋美術史、日本美術史（古代～中世）
博物館学

島添 貴美子　准教授
民族音楽学、民俗芸能研究、伝統文化論

清水 克朗　准教授
美術鋳造

髙島 圭史　准教授
日本画

高橋 誠一　教授
漆工芸、漆造形、生活工芸

武山 良三　学部長・教授
サインデザイン、景観まちづくり

田邊　元　講師
スポーツ人類学、民俗学、武術研究、民俗芸能研究

辻合 秀一　准教授
デジタルテクノロジー
Computer Graphics
画像処理、ヒューマンインタフェース
複合現実感

もっと!!
芸文WEB「受験生へのメッセージ」

内藤 裕孝　講師
家具デザイン、プロダクトデザイン

長柄 毅一　教授
金属材料学、金属材料加工学、文化財科学

長岡 大樹　助教
建築論、芸術論

西島 治樹　准教授
美術（メディアアート）

萩野 紀一郎　准教授
建築設計・保存・再生、インテリアデザイン

林　暁　教授
美学（漆工芸）

平田 昌輝　講師
彫刻、塑造

藤田 徹也　准教授
情報処理

ペルトネン 純子　講師
工芸（鍛金,彫金,ジュエリー）、美術教育

堀江 秀夫　教授
木材工学

松田　愛　講師
西洋美術史、近現代美術論
アート・マネジメント

松政 貞治　教授
建築論、建築歴史意匠設計学、都市形成史
景観論、フランス近現代建築デザイン論

三船 温尚　教授
鋳造技術史、
作品の造形と制作技術

村田　聡　教授
石油化学、触媒化学

安嶋 是晴　講師
文化政策論、伝統産業論、地域経営論

山田 眞一　教授
中国語学、中国語教育

横山 天心　准教授
建築意匠

渡邉 雅志　准教授
プロダクトデザイン、木材造形

AREA MAP
北陸新幹線
JR線
鉄道
自動車道路
国道
N
珠洲
輪島
能登島
和倉温泉
七尾
160
能越自動道
富山湾
至東京方面
北陸新幹線
新潟県
富山大学
高岡キャンパス
氷見
雨晴海岸
高岡北IC
高岡駅
新高岡駅
ミュゼふくおか
カメラ館
富山県美術館
富山駅
五福キャンパス
杉谷キャンパス
8
城端線
砺波
北陸自動車道
小矢部
JCT
金沢
兼六園
金沢21世紀美術館
井波別院
瑞泉寺
城端
東海北陸自動車道
五箇山
合掌造り集落
小松
石川県
至福井
京都方面
富山空港
越中八尾
41
高山本線
富山県
156
白川郷
白山
岐阜県
福井県
高山
至名古屋
黒部
下山芸術の森
発電所美術館
魚津
宇奈月温泉
滑川
黒部峡谷鉄道
（トロッコ電車）
白馬岳
欅平
剱岳
雄山
立山
薬師岳
長野県
穂高岳
安房峠
道路
至松本
乗鞍岳
二上山
高岡市
万葉歴史館
高岡市
高岡北IC
富山大学
高岡キャンパス
米島口
電停
富山県高岡
総合プール
万葉線
氷見線
庄川
小矢部川
能越自動車道
越ノ潟
海王丸パーク
新湊大橋
金屋町通り
高岡市鋳物資料館
高岡御車山会館
高岡市美術館
高岡古城公園
高岡市博物館
高岡大仏
芸文ギャラリー
高岡市立中央図書館
高岡駅
瑞龍寺
あいの風とやま鉄道
新高岡駅
北陸新幹線
射水市

雨晴海岸から見た立山連峰

国宝 瑞龍寺

高岡市美術館

千本格子の家屋が銅片の敷き込まれた石畳に
連なる高岡市金屋町

御印祭の街流し

日本三大七夕の一つ「高岡七夕まつり」

ユネスコ無形文化遺産「高岡御車山祭」

高岡市内を走る万葉線「アイトラム」

世界遺産「五箇山 合掌造り集落」

富山県水墨美術館

富山県美術館

北陸新幹線で新高岡駅から東京駅まで
最速2時間21分

金沢21世紀美術館

兼六園

GEIBUN

国立大学法人 富山大学
芸術文化学部／大学院 芸術文化学研究科

〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地
TEL 0766-25-9111
FAX 0766-25-9104
E-mail info@tad.u-toyama.ac.jp

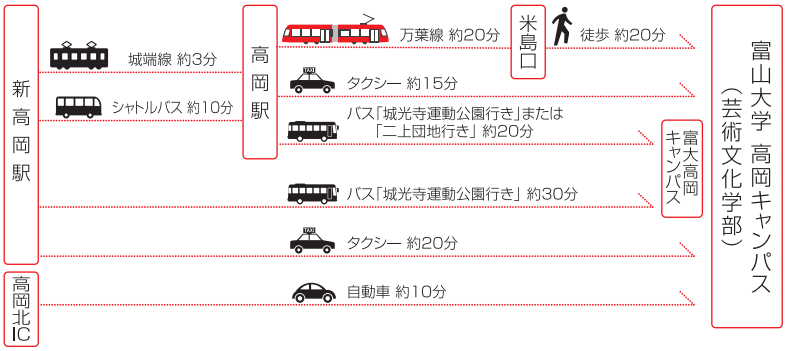
http://www.tad.u-toyama.ac.jp/

GEIBUN
@geibun_kouhou

ACCESS

東　京から	羽田空港から 富山空港まで（約1時間） JR東京駅から JR新高岡駅まで（最速2時間21分）
大　阪から	JR大阪駅から JR新高岡駅まで（約3時間） 車で名神高速道路ー米原JCTー北陸自動車道ー小矢部JCTー能越自動車道ー高岡北IC
名古屋から	JR名古屋駅から JR新高岡駅まで（約3時間30分） 車で東海北陸自動車道ー小矢部JCTー能越自動車道ー高岡北IC
北海道から	新千歳空港から 富山空港まで（約1時間30分）
福　岡から	JR博多駅から JR新高岡駅まで（約5時間50分）

TOYAMA 富山県



2018.04 この冊子に使用している紙は「紙」から「紙」へのリサイクルが可能です。